

6月15日(月)

立ち直る力

今日の力

聖書朗読 ネヘミヤ 1

悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。マタイ5：4

自分自身の蒔いた種で失敗し、そこから抜け出せないでいる時、その人は何をす
るでしょう。無益な対応を見ることが多いです。そういう人は、孤立し、責任転嫁を
し、怒り、復讐し、人や物に当たって暴力を振るうこともあります。危険で違法なも
のに手を伸ばす人もいます。また、憤慨し連絡を断つ人もいます。

ネヘミヤは、失敗した時にどうするか良い模範を示してくれました。彼は見知ら
ぬ土地で政治的な囚われ人でした。同じ場所に囚われてきた人たちは、服も汚れ 食
物にも事欠き 住む場所にも困っていましたが、ネヘミヤはその国の王の献酌官でした。
そして平穏に暮らしていました。ところがある日、彼の兄弟が占領地となったエルサ
レムの荒廃した様子を話すのを聞きました。城壁は崩され、門は日で焼き払われたま
までした。それは苦痛であり 恥ずかしいことでした。ネヘミヤは数日の間 嘆き悲し
み、断食して天の神の前に祈りました。彼は、民を導かないというしくじりをし、イ
スラエルの民は神様に対して過ちを犯しました。強く、誠実で恵み深い救い主であら
れる王の中の王である方のみが状況を変えてくださいます。ネヘミヤは失敗や気落ち
することを恐れてはいませんでした。彼は自分の嘆きを慰め主にお願いしお任せした
のです。

讃美歌 380

祈り おお主よ。私たちの失敗と不義理を心に留めてください。あなた様の偉大な
力と大いなる御手によって償われ、あなた様に仕えるものとさせていただきます。
反抗的な心から立ち返り、心をあなたに向けます。どうぞ私たちに
安らぎをください。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

ポール・トーマス

カルフォルニア州 ユカイパ

2020年6月15日～6月21日

翻訳 ハンコック・真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月16日 (火)

うわべだけでない美しさ

聖書朗読 エステル2：1～18

同じように女たちも、つつましい身なりで、控えめに慎み深く…よく従う心をもって教えを受けなさい。

I テモテ2：9～10

私はエステル記のこの部分が好きではありません。権力を持った国王が新しいお妃を探す、しかもその方法が 私的な美人コンテストです。この国の女性たちを貶めているとしか思えません！

この国王の女性に対する見方に対して嫌な気持ちになります。それは、私たちの天の王様であられる神様は 全く違う見方をして接して下さるからです。さて、エステルはどのようにしたのでしょうか。

エステルは王に気に入られるように努力しました。12ヶ月の「美しくなるための」準備期間を経て王のところに入って行きました。私たちは、神様の御前に入る時、同じように準備して整えて行くべきではないのでしょうか。もちろん、私たちの神様は、外見の美しさではなく、内なる美しさをご覧になる方です。第一サムエル16章7節には「主は心を見る。」と書いてあります。

しかし、私たちは霊的な面ではエステルの模範に習うことができます。祈りの没薬で洗い 純粋な思いという香水を付け 善行という良い服を着ることによって、内面の美しさを増させることができます。

讃美歌 521

祈り 親愛なる神様。私の口から出る言葉と心に思うことが、あなたを喜ばせることができますように。

イエス様のお名前によってお捧げいたします。アーメン。

ティム・ウィルズ

カルフォルニア州 マリブ

6月17日 (水)

危機一髪 (首の皮一枚だけで)

聖書朗読 エステル9：18～32

…死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたをキリストとともに生かしてくださいました。

コロサイ2：13

私は、聖書に訳されている「ただ齒の皮だけ」(日本語にすると「首の皮一枚」とでも訳すのでしょうか) という意味が今ひとつ理解できませんでした。どういう意味なのか何度も考えました。すんでのところできりぎりぎりに危険な状態を切り抜けた時にその言葉を使います。痛み、怪我、死、もっとひどい辱めなどの状態の時です。

私たちにはそれぞれに九死に一生を得た経験があるかもしれません。それは交通事故かもしれませんし、崖っぷちに立たされた結婚かもしれません。聖書にはそういう九死に一生を得た話がたくさん出てきます。個人的な物語の時もあるし、全体に語りかけたもの多くあります。エステル記は、ペルシャの法律の下 のユダヤ人大虐殺に向かっていたのですが、何とか危機一髪(首の皮一枚だけ)で助かった話です。ユダヤ人は、この大虐殺を逃れたことを今でもプリムの祭りとしてお祝いしています。

パウロの言葉が私たちも危機一髪で逃れた経験を思い出させてくれます。「死んだ者であったあなたがたを、神はキリストとともに生かしてくださいました。」告発人が検視官として立ち上がり、死を宣告した時、善き医者である方が命を与えてくださいました。「私たちに不利な…債務証書を無効にし、それを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。」私たちは、日曜日ごとにどうしようもない私たちをすんでのところで助けて下さった主の十字架と復活を覚えてお祝いするのです。

讃美歌 495

祈り 主よ。全能なる神よ。人としてのイエス様を通して救いを送ってくださったことを感謝します。あなたは、迷える者を捜し出して、救い、死に行く者に命を与え、罪人を義人に変えることを大喜びしてくださいます。あなたがどう私を救ってくださったか忘れ、話すのを止める事はありませんように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ドリュー・ベイカー

ノースキャロライナ州 ルイスビル

6月18日(木)

私はもう語りません

聖書朗読 ヨブ40:1~10

ああ、私はつまらない者です。あなたになんと口答えできるでしょう。私はただ手を口に当てるばかりです。
ヨブ記40:4

ヨブ記のこの箇所が他のどの箇所より親近感を覚えます。他の箇所で書かれているのは、ヨブが受けた甚大な災難と、我慢に我慢を重ねていること、個人的に共感できないほど直接的な神様への訴えです。しかしこの箇所では、神様ご自身からの応答を聞くヨブは何も語りません。神様がヨブに返答するように促してもヨブは何も答えませんでした。ヨブにはそうすることができなかつたのです。ヨブは神様と口論することがいかに無駄で愚かなことかを悟ったのです。

自分に人生を振り返って見ますと、何も言わないほうがいい時がありました。我慢して何も言わないようにした時もありました。誰かが意味深い素晴らしいことを言ったので言葉が出なかつたということもありました。初めて何かに関しての真実を知り、心をそれに傾けた時もそうでした。ヨブ記40章ではその全てが起きました。

ヨブはこの時、彼の神様に対する怒りや訴えが筋の通らないものであり、全宇宙を治める神様は理解を超え、圧倒的に義なるお方であると悟りました。ヨブは自分をさげすみ悔い、彼の全神経を傾けるにふさわしい神様の前でへりくだりました。私も今日ヨブと同じようにしたいと思います。

讃美歌 252

祈り 今日、私が何かをする時も話す時に、あなたを心から完全に認めることのできる日にしてください。神様に熱心に心を傾け、落ち着いて静かにあなたから聞くことができますように。

イエス様のお名前を通してお捧げいたします。アーメン。

ケリー・ミラー
テキサス州 ラボック

6月19日(金)

枠にとらわれない神

聖書朗読 ヨブ42:1~6

神はモーセに仰せられた。「わたしは『わたしはある』という者である。」
出エジプト3:14

天は神をとどめておくことをせず、神の存在を宣言しています。神様は契約するに値しない人間と契約を結び、祝福を与えて下さいます。人間が神の偉大さを知らうとすると、神様は理解をはるかに超えたことをなさいます。神様は不思議なことをなさいます。支えられていたのに酷い扱いをされるようになり、訓練は、愛とは感じず憎しみを感じるようになります。陽気な歌は悲しみの歌になり、華やかさは恥に変わります。生きる日々は短くされ、嘆きの声が上げます。「主よ あなたのかつての恵みはどこにあるのでしょうか。」(詩篇89:49)

一体何が起ったのでしょうか。何も起こっていません。ただ、神様が神様のなさりたいように、なさりたい時に、なさりたい計画で遂行されただけです。神様は、人間のようにではなく神様のようにふるまっただけです。

「わたしは『わたしはある』という者である。」という言葉は、「わたしは『わたしはある』という者となろう。」ともいうことができます。神様は私たちのしもべではなく、神様という存在になられるという意味です。神様は私たちの個人的なお世話がかりにはなりません。神様という存在であられるということです。神様が神様であられることは、「人間の枠に当てはまる神」ではなく、人間の創造を超えた働きをなさるということです。

「神とは誰か」が問題ではなく、「わたしは誰か」が問題なのです。そして、枠にとらわれない方の御前で自分がどのように生きていくのが一番大事なのです。

讃美歌 4

祈り 親愛なる神様。私は全ての答えを知らないのだという謙遜さを与えてください。理解できない時にあなたを信頼する信仰を与えてください。

イエス様のお名前を通してお捧げいたします。アーメン。

ペニー・f・ニコルス
テキサス州 オデッサ

6月20日(土)

幻を持ち続けなさい

聖書朗読 詩篇5

悪を行うものに腹を立てるな。不正を行う者に対してねたみを起こすな。

詩篇37:1

意地悪でずるい人が毎日あなたを攻め立てる時、どうすればいいでしょうか。霊的にも精神的にもクタクタになってしまいます。今日、クリスチャンたちは、その信仰ゆえに責められイジメを受けることがあります。まるで、「不正を行う者」の状況が優っているように見えます。

クリスチャンにとって、自分の信仰を証しし、吟味し、神に反することかどうかを見極めることは非常に重要です。もし意地悪で巧妙な嘘で攻められることがあったら、神様に受け入れられる振る舞いではないと述べた詩篇の作者を思い出してください。そういう時に、私たちが神様の性質を思い出すのは大切なことです。「あなたは悪を喜ぶ神ではなく、わざわざはあなたとともに住まないからです。」(詩篇5:4)

神様があなたに与えている幻を持ち続けましょう。勇気と力を持って 神様の偉大さと神聖さを忘れないようにしましょう。神様のビジョンを持ち、何が価値あるものかを見極め、迷わないで勝利に向かって進んで行きましょう。この世の日々の戦いの中で、同じような経験をしたクリスチャンたちに倣い生きて行きましょう。

讃美歌 273A

祈り 天のお父様。この世の価値観に関心を寄せてしまう私を許してください。正しいことだけをなさった方のお名前を通してお祈りいたします。
アーメン。

ラリー・ケイン
テキサス州 ハイランド

6月21日(日)

成功の危険

聖書朗読 詩篇30篇

愚かな者は心の中で「神はいない」と言っている。詩篇14:1

失敗すると、かなり敬虔なクリスチャンでさえも信仰を失くしてしまう時があります。人間関係の軋轢、失職、夢が破れた時—これら全て、またはこれ以上のことが身に起こった時に信仰と神様の誠実さに疑問を抱くかもしれません。

失敗が信仰をつまずかせる原因になることがあります。成功はそれ以上につまずく原因になります。人生で万事がうまくいっている時、それは誰のおかげだと思いますか。私です。未来をコントロールするのは誰でしょう。私です。ルカ12章13~21節に出てくる愚かな金持ちの話をもう一度読んでみてください。そして、彼が何度私が…私が…と言ったかに目を留めてください。もしくは、詩篇30篇6節の告白を聞いてください。「私が栄えたときに、私はこう言った。『私は決してゆるがされない』と。」しかし、彼は、ゆるがされました。そして、成功は失敗に変わってしまいました。彼は、いつも一緒にいてくださった神様に顔を向けました。

最終的に詩人は成功も失敗も永遠には続かない、神様だけが永遠である、と洞察しています。このいつも共にいてくださる神様は助けを求めるもの誰にも祝福をくださるのです。「まことに御怒りはつかの間 いのちは恩寵のうちにある。夕暮れには涙が宿っても 朝明けには喜びの叫びがある。」(詩篇30:5)

讃美歌 459

祈り 父よ。自分の中ではなくあなた様の中に、真の自分を見い出すことができますように。自分がした何かによってではなく、神様のひとり子が私たちにしてくださったことの故に平和を見つけることができますように。
イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ポール・ワトソン
ノースキャロライナ州 ダラム